



瀬谷区のマスコット
キャラクター
せやまる

第3号

横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会 ニュース

令和5年3月17日発行

旧上瀬谷通信施設では、2027年に国際園芸博覧会の開催が予定されています。この開催を地元瀬谷区から盛り上げるため発足した、横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会の取り組みをご紹介します！

第3回 横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会が行われました

令和2年10月に設立された横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会。3回目の協議会が、2月20日に瀬谷区役所で、第1回以来となる対面形式にて開催されました。今回の協議会では、国際園芸博覧会の開催準備状況の共有や次年度の区民へ向けた積極的な博覧会の機運醸成の実施決定などが行われました。



開催準備状況の説明を受けました。

横浜市の技監(ぎかん)として国際園芸博覧会推進担当を兼務している小池 政則氏と、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会事務次長の小林 一美氏にお越しいただき、開催に向けたこれまでの準備状況や最近の動き、また博覧会の概要や今後の検討事項などについて説明を受けました。



当日の様子

2027年国際園芸博覧会の開催に向けた取組状況

博覧会の基本計画を公表

令和5年1月10日、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が、博覧会の基本計画を公表しました。

今後、基本計画に基づき、各事業を推進するとともに、出展者、支援者、来場者に向けた参加招請や機運醸成等の取組を実施し、開催に向けた準備を進めていきます。

なお基本計画は、博覧会協会ホームページでご覧いただけます。

2027年国際園芸博覧会 基本計画・概要版



ロゴマーク最優秀賞と正式略称、推進体制が決定

博覧会開催1500 日前の令和5年2月8日、博覧会協会から、公式ロゴマーク最優秀賞作品、正式略称、開催に向け加速化する活動を牽引していく推進体制が発表されました。

また、博覧会を推進する専門家体制<GREEN×EXPO ラボ>のメンバーとして、涌井史郎氏をチェアパーソンに4名の方が就任し、蛭川 実花氏がクリエイターに就任しました。



公式ロゴマーク最優秀賞作品と受賞者

博覧会に関する詳細は [国際園芸博覧会](#)

正式略称

GREEN×EXPO 2027
(グリーンエクスポニーゼロニーナ)

国際園芸博覧会とは

テーマ **幸せを創る明日の風景 Scenery of the Future for Happiness**

開催期間

2027年3月19日～9月26日

開催場所

旧上瀬谷通信施設(横浜市旭区・瀬谷区)

参加者数

1,500万人(ICT活用や地域連携などの多様な参加形態を含む)

博覧会区域

約100ha(内、会場区域80ha)

令和4年度の協議会活動をご紹介します

令和4年度に区役所と協力して行った、機運醸成の取組をご紹介します。

① 瀬谷オープンガーデン2022

● 令和4年4月～5月 実施



瀬谷オープンガーデンは、個人宅のお庭や公園の花壇等を会場として巡っていただき、区民の方々と一緒に開催するイベントです。昨年はウォーキングイベントとの協力など、盛りだくさんでお届けするなか、博覧会のPRも行いました。2023年は4/14～16と5/19～21が開放期間です。ぜひ、ご来場ください！

瀬谷オープンガーデン

② 小学生への花育成キット配布

● 令和4年5月～9月実施

ミニヒマワリの育成キットを区内全小学校に配り、子どもたちが身近に花に触れ、興味や関心を持ってもらう取組を行いました。

また、育てられた花は三ツ境駅南口のペDESTリアンデッキに配置するなどし、区民の皆さまが目にする機会をつくりました。



③ たねダンゴワークショップの開催

● 令和4年10月実施



3回目の開催となる「たねダンゴワークショップ」を、今回も瀬谷本郷公園で行い100名の方にご参加いただきました。

これに加え、区内公立保育園でも出張ワークショップを開催し、園児の皆さんと園内に花畑をつくりました。

④ 瀬谷フェスティバルでのフォトスポット設置

● 令和4年10月実施

博覧会会場となる旧上瀬谷通信施設のはらっぱで行われた瀬谷フェスティバルに、生花を用いたフォトスポットとカウントダウンボードを設置し、来場者に博覧会のPRを行いました。



令和5年度の協議会の取組予定をご紹介します

今回議決された令和5年度に協議会が取り組んでいく活動について、その一部をご紹介します。

● 広報物の制作 ●

区民の皆様へ、博覧会により興味関心を持っていただくための広報物として、開催機運醸成に向けたオブジェを制作します。

制作したオブジェは区内イベントなどで活用するため移動可能なフォトスポットとして、開催まで継続して使用できるようにします。

具体的なオブジェのデザインについては、次回の協議会において検討していきます。

● 応援制度の創設 ●

区全体が一体となって機運醸成を行っていることが多くの方に伝わるよう、協議会において「応援ロゴマーク」や、使用してもらうための仕組みを博覧会協会などと調整したうえで策定します。

「応援ロゴマーク」を広報などの際につけることで、協議会も様々な取組を応援していきます。

【作成】 横浜国際園芸博覧会瀬谷区推進協議会事務局（横浜市瀬谷区区政推進課）

〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190

TEL：045-367-5632 FAX：045-365-1170

E-mail：se-kusei@city.yokohama.jp